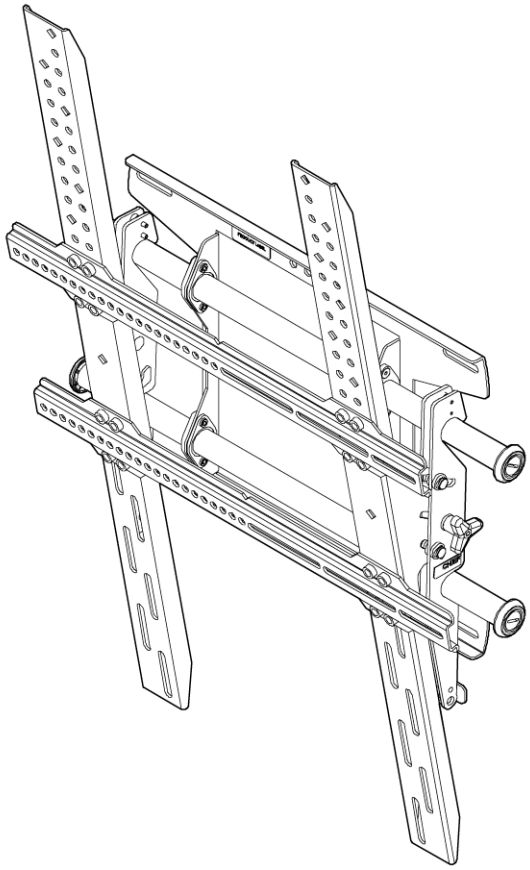
取扱説明書

縦設置専用大型FPD用壁付け金具

型番　LTAP-U



LTAP-U

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともディスプレイおよび金具の合計重量の5倍に耐えるよう十分注意の上、設計施工を行ってください。
●作業は必ず2名以上で行ってください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

第002版　2014年 12月16日発行

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

⚠ 警告と注意！

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告
作業は必ず２人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

⚠警告
部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠警告
取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

⚠警告
ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定金具類は、付属しておりません。壁の材質や構造に適合した固定金具を別途お求めの上、施工してください。

⚠警告
開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わう場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

⚠警告
作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください、指をはさまないようにご注意ください。

⚠警告
ディスプレイの取付作業が行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、じゅぶんにご注意ください。

⚠注意
運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください

■設置場所について

- 壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、壁掛けユニットとディスプレイの質量を確認のうえ、壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木、天井吊り金具には取り付けないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

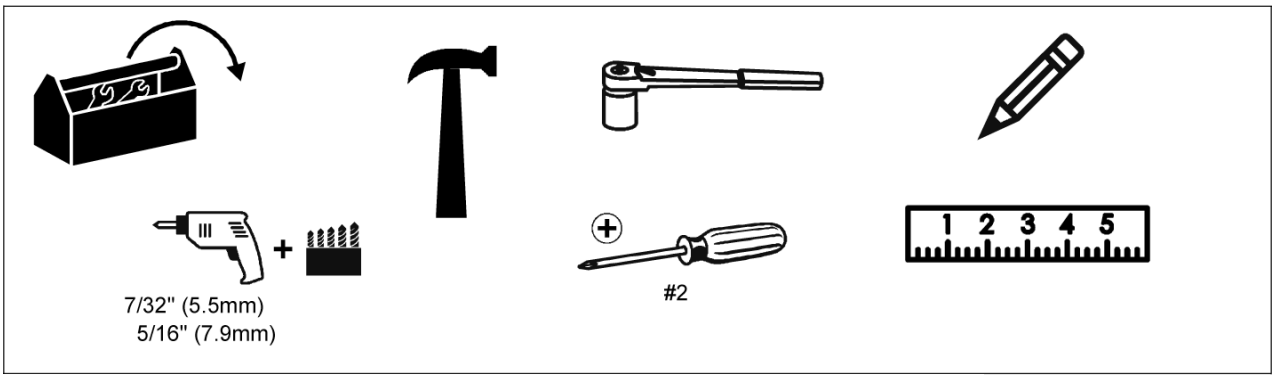
誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

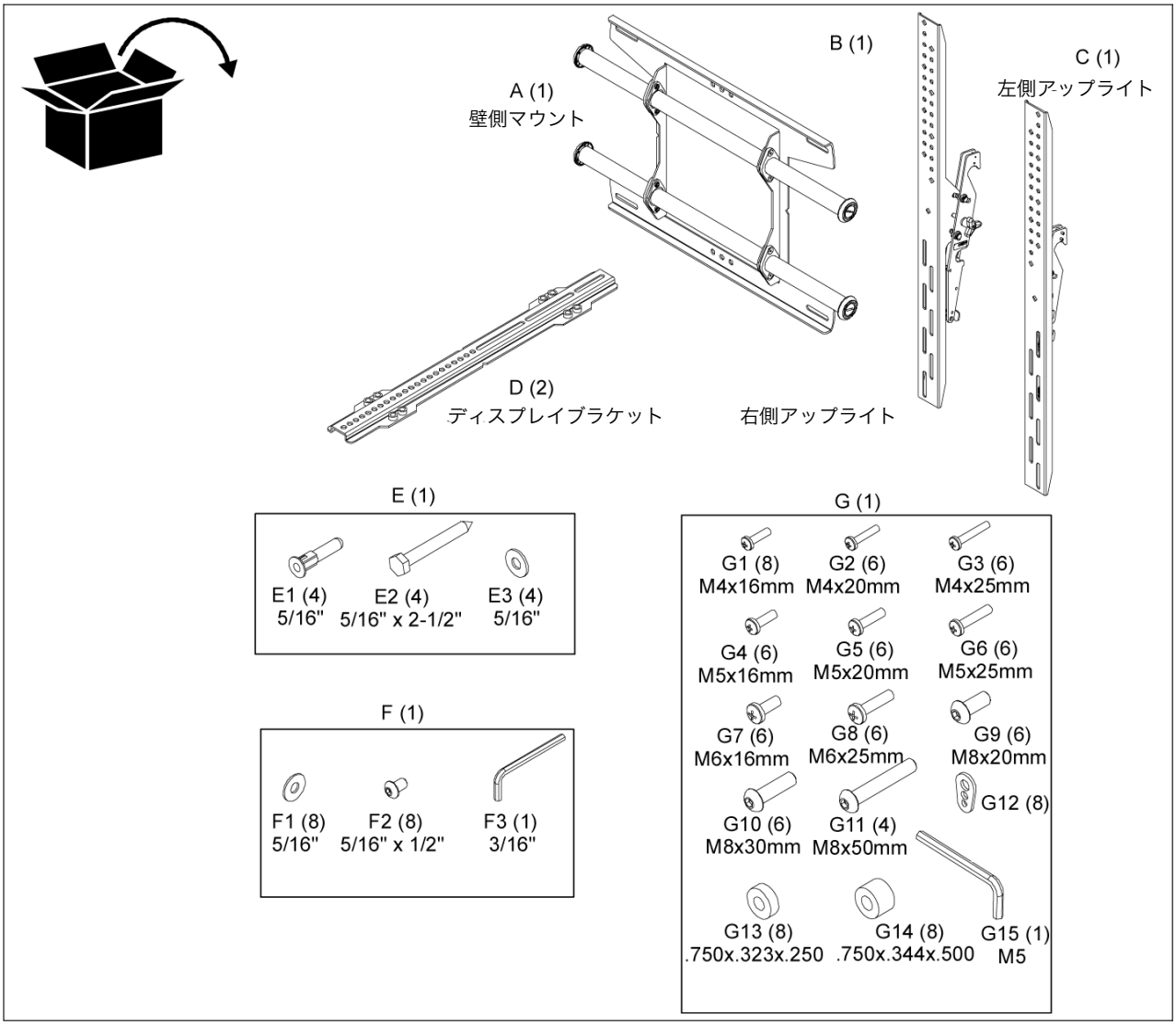
1. 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、じゅうぶんな強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めてください。
3. 図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。
4. 壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。
5. 壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各２ヵ所以上にバランスよく施工してください。

組 立 手 順

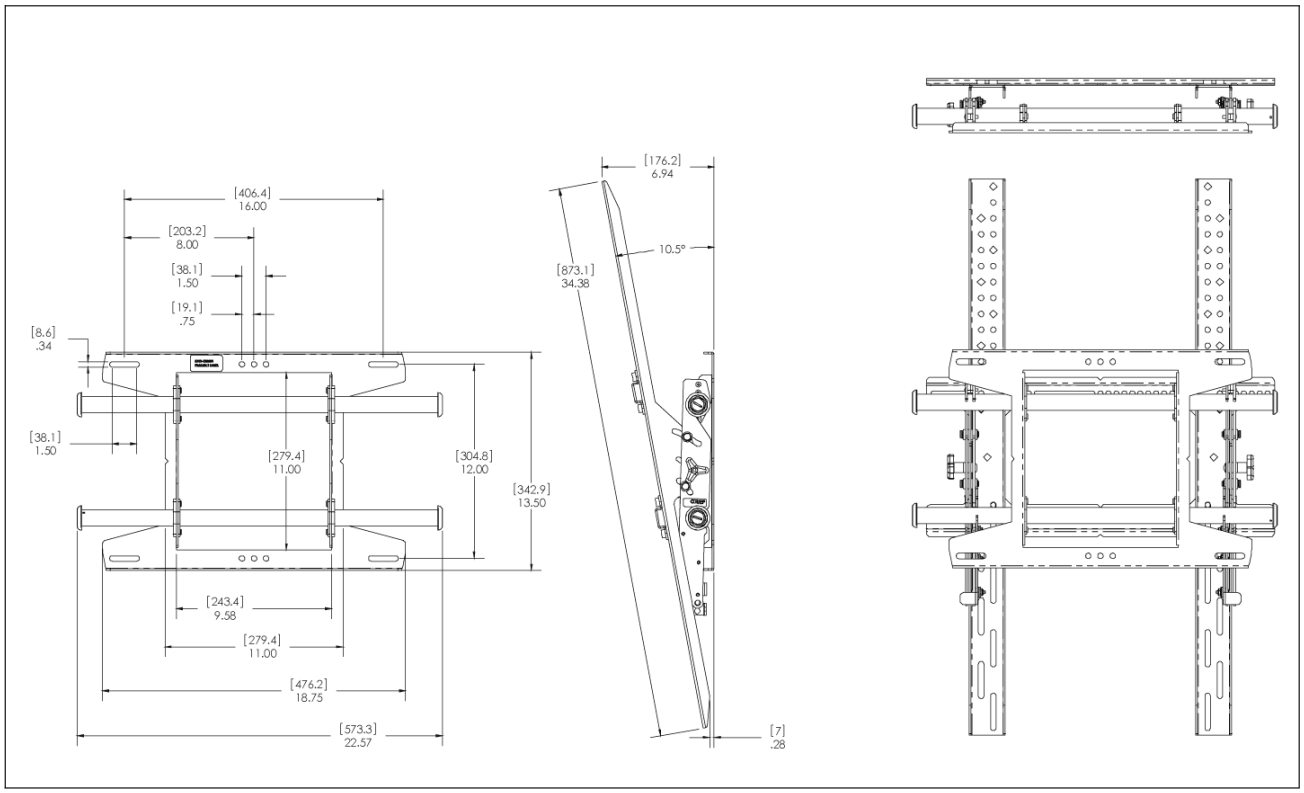
■本体の組立に最低限準備いただく工具



■天井側 マウントベースの部品と封入物



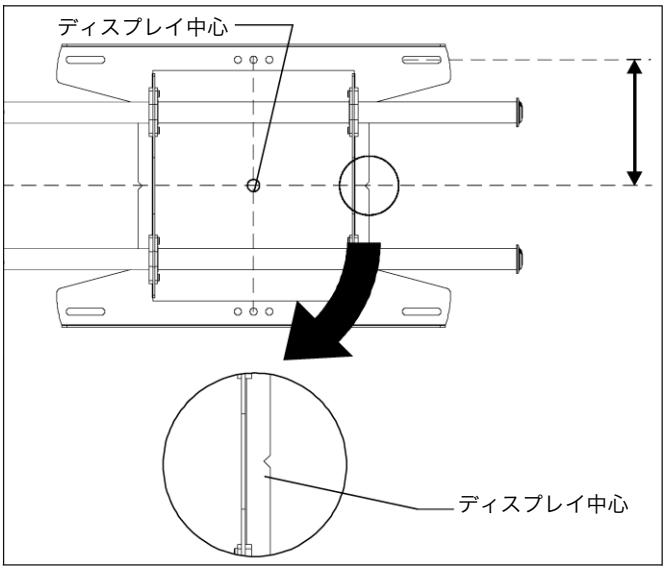
■VCM-Uの寸法図



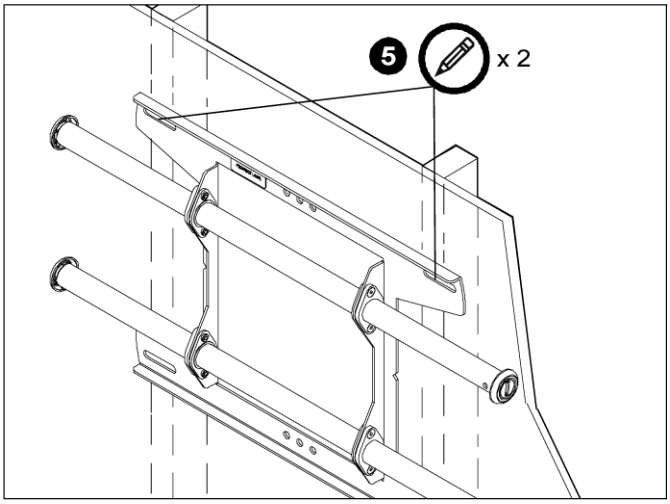
単位: [mm]
インチ

壁面固定は、壁補強位置に合わせて長穴の範囲で設置可能ですので、左右の位置微調整が可能です。

◆壁側ブラケットへの、壁への固定方法



ご使用になるディスプレイの固定したい位置を決めます。
壁側ディスプレイ金具上側の取り付けビスの固定位置は、ディスプレイ金具中心にしたい位置より152.4mm上がった位置に固定するようにしてください。

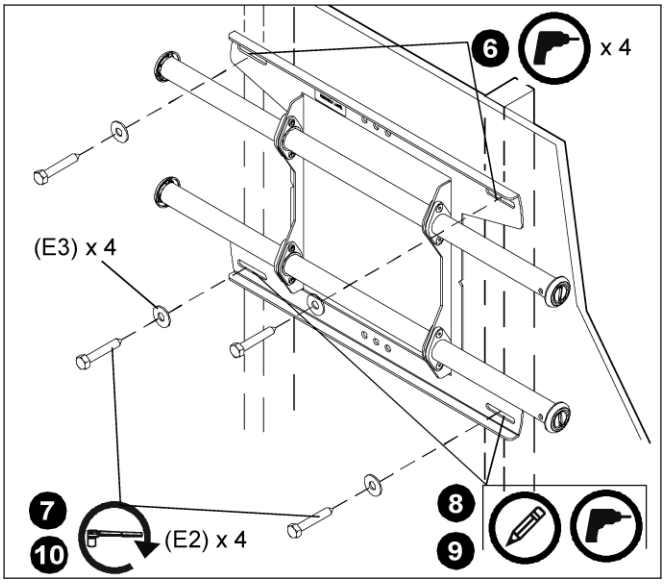


図では、壁の背面に補強桟を入れていることを示しています。このように補強桟のある位置に正確に固定ネジをとりつける場所をけがきます。

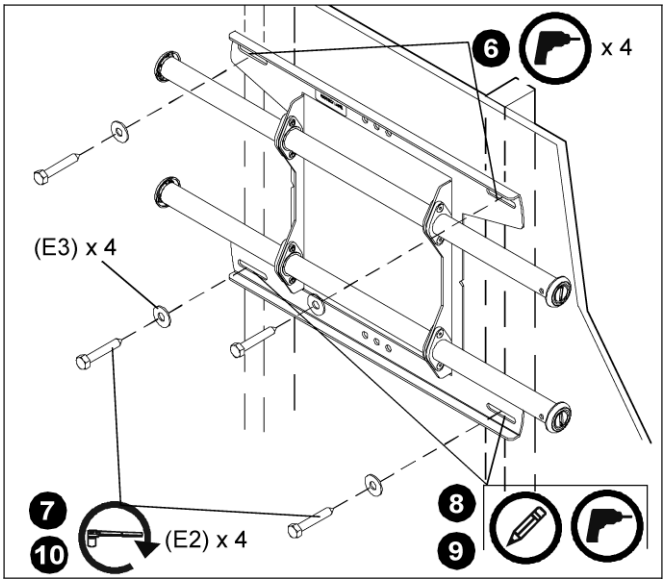
このとき、壁の裏側に電気配線などがないかどうか確認して作業してください。

図のように壁面が木製で、木製の補強桟が入れられている場合、付属のワッシャーを介して「ラグボルト」という大型のネジで固定します。

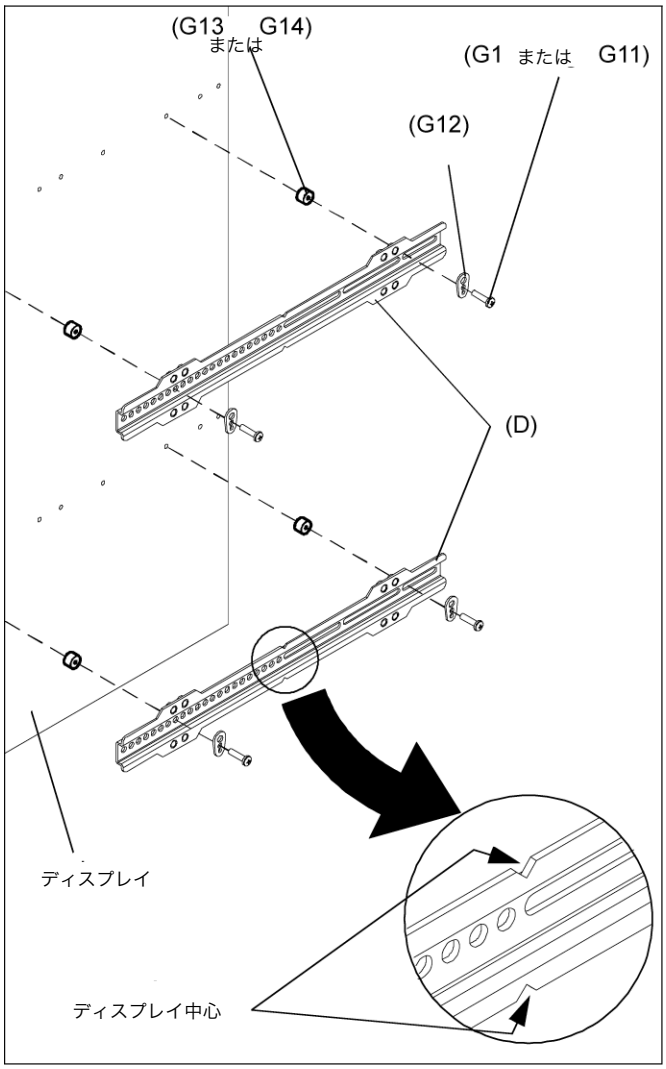
ネジは壁の強度にあったものをお買い求めください。



図のように壁がコンクリートの場合、あらかじめコンクリートアンカーを打設して、ボルトで固定します。
コンクリートアンカーは、5/16”サイズか、またはM8のサイズのものを使用してください。



■ディスプレイへの、ブラケットの取り付け

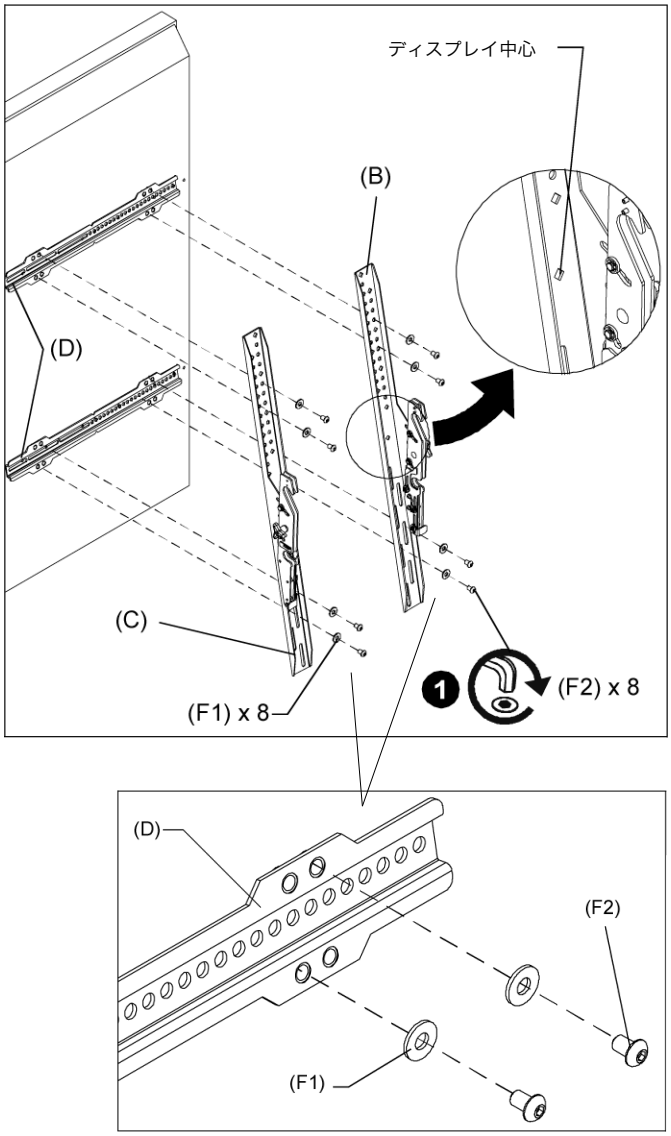


まず、ディスプレイにディスプレイブラケットを取り付けてください。

ディスプレイの背面にある壁取り付けネジ穴を利用して、ディスプレイブラケットを取り付けます。ディスプレイブラケットの中央部分には切り欠きがあり、これが金具の中心になりますので、この切り欠きとディスプレイの中心が合致する位置にブラケットを固定するようにしてください。

図のように、ディスプレイ背面の壁取り付けネジに合う位置にディスプレイブラケットをG1またはG11のビスで固定します。

このとき、ビスの径が小さい場合は、G12のワッシャーを、ディスプレイブラケットとディスプレイのすきまにふくらみやくぼみがある場合は、G13やG14のワッシャーを使用してください。

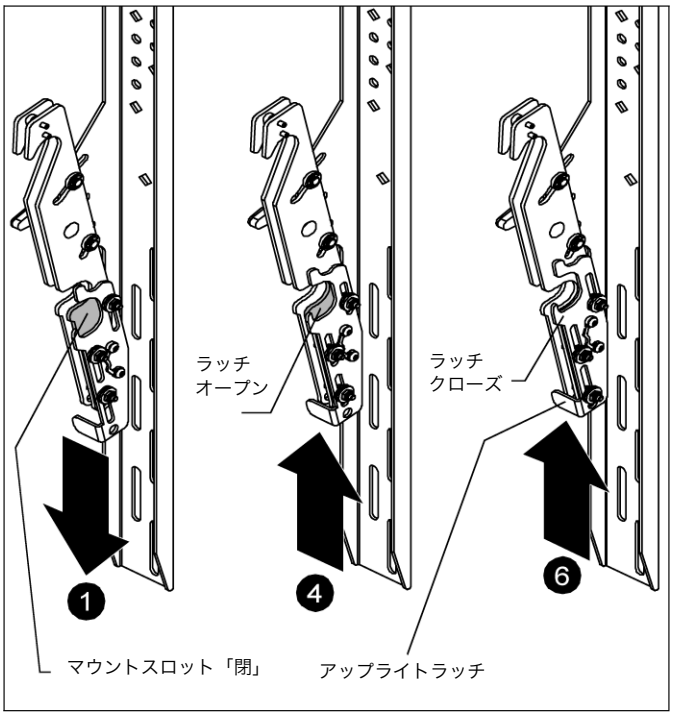


ディスプレイにディスプレイブラケットが取り付いたら、(B)と(C)のアップライトを取り付けます。

アップライトには、中央部分にひし形の穴があり、これがディスプレイの中心になる位置です。

次に、(F1)のワッシャーと(F2)のビスでアップライトを固定します。

◆ディスプレイを壁側金具に固定する。



最後に壁側金具にアップライトのフックを引っ掛けて④のようにロックをセットします。

このとき、モニターの上部が壁面と衝突しないように、角度調整ノブを緩めて、最大の傾斜にしておきます。

次に、いったんアップライトのラッチを引き下げて、ディスプレイが壁マウントの上部パイプだけに引っ掛かる状態にしておきます。

ここで、ケーブル接続等をおこないます。
次に、ラッチを押し込んで正規の位置にしたあと、⑥の方向に押し込んでラッチを閉じておきます。

最後に、角度調整ノブを緩め、正しい傾斜角度になるようにセットして、ふたたび角度調整ノブをしっかり締めこみます。

⚠ 角度調整ノブは、緩めた状態でもディスプレの角度が急激に変化しないようになっていますが、取り付けが終わりましたらノブはしっかりと締めこんでおいてください。

⚠ アップライトラッチは、衝撃や振動では容易に外れない設計になっています。

CHIEF正規輸入総代理店

AVC 株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.
http://www.avc.co.jp/

● システム販売事業部　首都圏　〒135-0063　東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー 8F
TEL：03-3527-8660　FAX：03-3527-8666
関　西　〒564-0062　大阪府吹田市垂水町3-18-25
TEL：06-6836-7827　FAX：06-6310-6144

第002版　2014年 12月16日発行